

MID-TERM CSR ACTION PLAN

中期CSRアクションプラン

日本化薬グループでは、2013年4月より、2016年の創立100周年を目指した新たな3か年中期事業計画 **Challenge 100A!** (Challenge toward our 100th anniversary)を開始しました。これに伴い、**Challenge 100A!** 期間中に取り組む中期 CSR アクションプランを設定しました。本中期 CSR アクションプランを全役員・従業員に徹底し、CSR 経営への意識を高めるとともに、全員一体となった取り組みを進めてまいります。

| 分類 | No. | Challenge 100A! 中期CSRアクションプラン | 2013年度 CSRアクションプラン | ISO26000との対応 | | | | | | |
|-------|-----|---|---|--------------|----|------|----|-------------|-----------|-------------------|
| | | | | 組織統治 | 人権 | 労働慣行 | 環境 | 公正な 事業慣行 | 消費者 課題 | コミュニティ 参画および発展 |
| 基盤 | 1 | 従業員のCSRとコンプライアンスに対する意識を向上させる | グループ会社を含めたCSR・コンプライアンス研修 | ◎ | | | | ○ | | |
| | 2 | 有事発生時においても事業継続性を確保する | 防災対応を含めたBCPマニュアルの整備と訓練 | ◎ | | | | ○ | | |
| 社会的責任 | 3 | 化学物質に関する規制を順守する | 化学物質規制に関する社内教育プログラムの充実、SDS*開示へ適切な対応 | | | | ◎ | ○ | | |
| | 4 | がんとかん関連分野における研究・開発・製品情報提供により社会に貢献し続ける | 血管塞栓用マイクロスフェアの上市と抗がん薬内包高分子ミセルの開発推進 | | | | | ○ | ◎ | |
| | 5 | 従業員の火薬類取り扱いに関するスキル・知識の習熟を徹底する | 火薬安全維持推進チームによる階層別教育プログラムの実践 | | | | | | ◎ | |
| | 6 | 農業安全使用のための現地指導を継続実施する | 販売窓口への訪問(販売員一人あたり150回/年)の実施 | | | | ○ | | ◎ | |
| | 7 | サプライヤーと連携したCSR調達を推進する | CSR調達基準の策定 | | | | | ◎ | | |
| | 8 | 重大事故災害による環境影響や労働災害を未然に防止する | 重大事故災害、休業災害、無傷害事故:0件 不休業災害度率1(5件)以下 | ◎ | | ○ | ◎ | | | |
| | 9 | 顧客苦情・品質工程異常を低減する | 重大顧客クレーム(損失金額1,000万円以上):0件 | | | | | ○ | ◎ | |
| | 10 | 地域社会とのコミュニケーションを行う | 「あすなるの家」運営を通じ、難病とたたかう子どもの家族をサポート | | | | | | | ◎ |
| | 11 | ステークホルダーに対して適時適切な情報発信を行う | ステークホルダーとのコミュニケーション推進、わかりやすいウェブサイトづくり | ◎ | | | | | ○ | |
| | 12 | 多様な人材を活用・育成する | ダイバーシティの拡大~障害者雇用率の向上、女性管理職の登用促進、高齢者の能力活用 | | ○ | ◎ | | | | |
| | 13 | 従業員の安全と健康に配慮し、ワークライフバランスのとれた労働環境を提供する | 健康的な職場づくり~メンタルヘルス研修:3か年計画受講率100%、健康診断:受診率100% | | ○ | ◎ | | | | |
| | 14 | 人権とプライバシーを守る | 通報・相談窓口の適切な運用、人権・パワーハラスメント教育の実施 | | ◎ | ○ | | | | |
| 環境責任 | 15 | グリーン調達比率の向上を図る | 間接材購買システムの推進によるグリーン調達実施状況の把握 | | | | ◎ | ○ | | |
| | 16 | 環境へ配慮し、中期環境目標を達成する | 化学物質排出量の削減:2020年度までの中期環境目標達成に向けた取り組み | | | | ◎ | | | |
| | 17 | 廃水処理技術を向上させ、環境規制に対応する | 海外グループ会社を含めた新規廃水処理技術の開発検討~有色廃水の高度処理による新規脱色技術の検討 | | | | ◎ | | | |
| | 18 | より一層のエネルギー低消費型企業を目指す | 各事業場省エネルギーアクションプランの策定 | | | | ◎ | | | |
| 経済的責任 | 19 | 持続可能な企業グループとして安定的な収益を確保する | グループ経営の充実~本部サポート体制の強化による各グループ会社の活性化 | ◎ | | | | ○ | | |
| | 20 | 環境・省エネルギーに貢献する製品を上市する | 高性能熱伝導接着シート・光学制御フィルム新製品の上市 | | | | ○ | | ◎ | |
| | 21 | 経済負担を軽減する高品質な医薬品を提供する | バイオンミラーの早期上市とジェネリック抗がん薬の遅滞ない上市 | | | | | | ◎ | |
| | 22 | 独自技術を応用した安価自動車用安全デバイスをグローバルに拡大し、人命保護に貢献する | 海外拠点の新規立ち上げと生産設備増強 | | | | | | ◎ | |
| | 23 | ものづくり技術の継承により生産工場を維持継続する | ものづくりに関連した全社発表会・社内教育・情報共有の推進 | ○ | | ◎ | | | | |
| | 24 | 持続的に研究テーマを創生・遂行する | 持続的に創生・遂行できる仕組みの構築 | ○ | | | | | ◎ | |

*【SDS】Safety Data Sheet (化学物質安全性データシート)